



なかのゆうこ
中野 裕子



にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

生理用品を社会インフラとして整備すべき

問 市立小中学校は主に保健室に生理用品を設置しており、トイレに設置しているのは69校中8校のみ。保健室では養護教諭に伝えなければ生理用品をもらえない。助けを求められなくても、生理用品は必要であり、児童生徒の尊厳を守り、必要としている児童生徒全員に行き渡らせるため、トイレットペーパーと同様に、市が率先して生理用品をトイレに設置してはどうか。

各学校が状況に応じて対応していく

答 現在、生理用品をさまざまな場所に積極的に置くという動きがあることは把握している。

しかし、子どもに社会で自立して生活していく力を身に付けさせたいと考えており、現時点では、各学校で子どもの状況に応じて対応していく方向で取り組んでいる。

今後、学校のトイレに置くことになった際には、子どもたちに置く目的や意図を事前に指導し、既に試行的にトイレに置いている8校の成果や課題を教育委員会が情報収集し、今後取り組む学校に、その情報を提供し、効率よく進めていきたい。

●その他の質疑・質問●

○議案第32号令和4年度津市一般会計予算中リニア中央新幹線について

○議案第20号令和3年度津市一般会計補正予算（第14号）中民生費・教育費の保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業について

○公立保育士・幼稚園教諭・会計年度任用職員の処遇の改善について

など



▲小中学校だけでなくすべての公共施設に生理用品の設置を



あづみ
安積 むつみ



こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

防犯灯LED化へ推進後の継続支援の考えは

問 防犯灯設置補助金により、従来型（蛍光灯）からLED型へ更新する支援を行い、自治会の協力の下、LED型の設置率は90%に達した。LED電球は6万時間、自動点滅機器は10年が寿命とあるが、災害等により、すでに故障した防犯灯もある。防犯対策として、地域の安全安心な暮らしを守るため、LED型からLED型へ更新する補助条件の拡充が必要ではないか。

設置補助金のあり方について、調査を進める

答 現在の補助対象は、従来型の防犯灯から、LED型防犯灯への取り替えや、LED型防犯灯の新設のみとなっている。

指摘のとおり、LED型の寿命は長いと言われているが、実際には、耐用年数を待たず故障する事例も聞いており、今後、それらの状況も含めて、LED型防犯灯の設置補助金のあり方について、しっかりと調査を進める。



●その他の質疑・質問●

○障害者総合支援法関係事業
●地域生活支援拠点について

○高齢者福祉について

●住宅改修の支払いに受領委任払い導入の考えは

●家族介護教室をオンライン開催や動画配信導入の考えは

○介護保険料納付書送付時期改善とコンビニ払いの考えは

○低体重児のためリトルベビーハンドブック導入の考えはなど



▲全国自治体でもリトルベビーハンドブックの必要性を確認